

2018
10月25日

(年7回25日発行)

第468号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

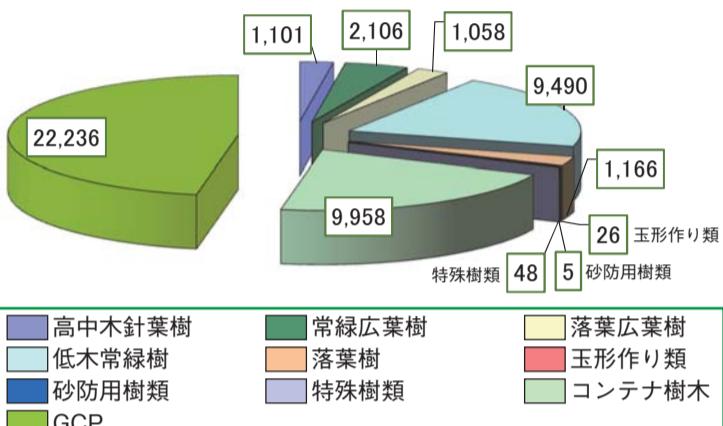
〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三浦ビル3階
TEL.(03)3586-7361 FAX.(03)3586-7577
URL : http://www_ueki.or.jp/
E-mail : honbu@ueki.or.jp

購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

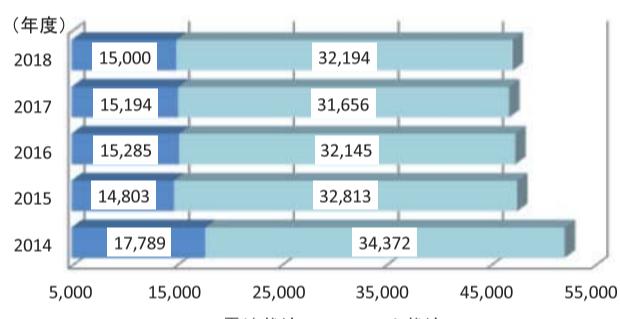
謹んで台風、豪雨災害のお見舞いを申し上げます。

平成30年8月～10月にかけての台風や豪雨により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念いたします。

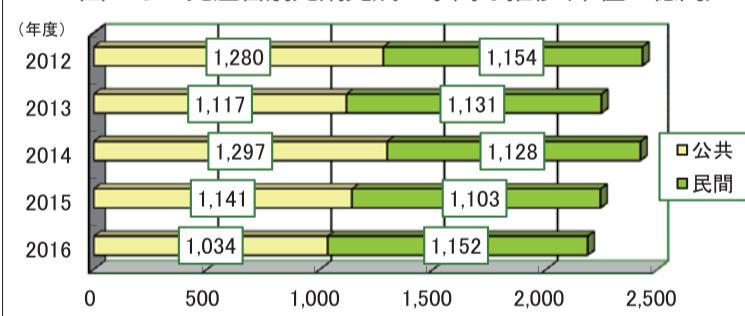
一般社団法人 日本植木協会

会長 宮倉孝行
会員一同図一1 形態別の供給可能量 (単位:千本・鉢)
[2018年度:47,194千本・鉢]

図一2 露地・コンテナ栽培の推移(単位:千本・鉢)



図一3 発注者別元請完成工事高の推移(単位:億円)



[調査結果の概要]
2018年度の供給可能な量は4,719万本となり、対2017年度比(4,685万本)100・7%と3年続いた減少から増加に転じている。形態別内訳は、グラウンドカバープランツ(GCP)が最も多く全体のおむね半数(47・1%)、次にコンテナ樹木がおよそ5分の1の21・1%、3番目に低木常緑樹が20・1%の順となり、前年度に続いてコントニア樹木が第2位を維持している(図一)。

露地栽培物の内訳は最近5年間に亘りおむね3対5対2の比率で推移している。

主な形態について種類別内訳をみると、GCPではタマリュウ4,93万鉢(GCP全体の22・2%)、シバザクラ類3,02万鉢(同13・6%)、コグマザサ(同2・1万鉢同5・4%)の構成となる。コンテナ樹木は、Cham. p. フィリフェラ・オーネムラサキツツジ1,21万本(同13・8%)、オオムラサキツツジ1,21万本(同12・8%)が上位3樹種を構成している。サツキは最近5年間4,00万台で低減を続けている。なお、GCPのタマリュウは鉢径7・5cm、5芽立の規格の他に、マット栽培

(一財)日本緑化センター 理事 滝 邦夫
(二財)日本緑化センター 理事 滝 邦夫

平成30年度 都道府県別緑化樹木供給可能量調査 結果報告

による供給(露地約1,500m²、コンテナ約152,500m²)も行われている。

2018年度の総数は前年度に対し0・7ポイントと僅ながら増加となり、対2017年度比は露地物と僅ながら増加となり、コンテナ物の増勢による(図一)。

2018年度コンテナ栽培物の対前年度比の内訳は、樹木102・4%、GCP101・4%となつていていることから、樹木とGCPの伸びが全体の動きに影響している。

建設工事施工統計調査(国土交通省)によると、2016年度の造園工事完成工事高は4,507億円、2015年度に比べ1・8%減少している。このうち、造園工事業種が元請で受注

1件当たり請負金額の推移をみると、2017年度は5,723万円となり、5年連続の増加から僅かに減少している。造園植栽工事に結びつきの強い公園および道路工事の請負金額について、道路部門は3兆8

千億円前後で推移、公園部門は5年続けて増加となる。「公共工事前払金保証統計」(北海道・東日本・西日本建設業保証株)によつて検討する。2017年における金額は2,186億円(前年度比2・6%)で、元請比率は48・5%を占める。元請比率は前年度に比べ0・4ポイント下降している。完成工事高は2006年度以降でみると、2007年度まで5千億円台、2008年度以降は4千億円台を横這いで推移している。

また、2016年度の元請受注額を発注者別にみると、公共は1,034億円(47・3%)、民間は1,1

府県が各々38・6%、30・

1%となる。地域別には、

関東のウェイトが大きくなっている。

2番目は都道府県が各々38・6%、30・

1%となる。地域別には、

2018年植生アドバイザー 育成講座報告

植生調査委員会



Aコース
川場村の植生景観の調査を行い、それをもとに植栽計画の立案に繋げてきました。野外実習では、川場村の植生景観について、個々の理解が高まって時間に余裕のある講義になっています。



Cコース
中村幸人先生が授業をやりやすかったと言われた様に、個々の理解が高まって時間に余裕のある講義になっています。毎年のように時間が足りなくななるデータ整理ですが、中村先生が授業をやりやすかったと言いました。

りなくなるデータをもとに植栽計画の立案に繋げてきました。今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コース20名の内20代が4名、30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にありました。

A植生調査コースを担当して頂いている東京農業大学の鈴木伸一先生は、今年は4名という少人数での開催となりましたが、もども理解するのが大変だと言っているBコースです。毎年のように時間が足

りなくなるデータを傾けていた様でした。特に近年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にありました。

皆さま、こんには。今年も植生アドバイザリー育成講座を開催となりました。育成講座は今回で17年目の開催となりました。3泊4日の日程で3年間にようぶセミナーにもかかわらず、こなれだけの方々に参加して頂いています。自然環境について植生を深く学びたいと感じております。特に今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にあります。

A植生調査コースを担当して頂いている東京農業大学の鈴木伸一先生は、今年は4名という少人数での開催となりました。育成講座は今回で17年目の開催となりました。3泊4日の日程で3年間にようぶセミナーにもかかわらず、こなれだけの方々に参加して頂いています。自然環境について植生を深く学びたいと感じております。特に今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にあります。

B植生景観調査コースは東京農業大学名誉教授の中村幸人先生に今年も担当して頂きました。今

年は4名という少人数での開催となりましたが、もども理解するのが大変だと言っているBコースです。毎年のように時間が足りなくななるデータを傾けていた様でした。特に今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にあります。

B植生景観調査コースは東京農業大学名誉教授の中村幸人先生に今年も担当して頂きました。今

年は4名という少人数での開催となりましたが、もども理解するのが大変だと言っているBコースです。毎年のように時間が足りなくななるデータを傾けていた様でした。特に今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にあります。

C植生復元・モニタリングコースは、緑化工学が専門の東京農業大学の福永健司先生に植栽計画における知識を植物から土木の分野まで担当して頂きました。今

年は4名という少人数での開催となりましたが、もども理解するのが大変だと言っているBコースです。毎年のように時間が足りなくななるデータを傾けていた様でした。特に今年は協会員以外の参加者が多く、今年のA植生調査コースは30代が9名と若い参加者が増えたという傾向にあります。

昨日の自然災害の広がりを考えると防災・減災のための緑インフラは不可欠の知識と経験が必要であります。カリキュラムの内容等、見直しや修正も含め、検討していくたいと思いま

す。

そして、この七草紋には五枚葉と七枚葉の二例がありますが、正体はナズナです。実は私の居住する京都の一部では、七草粥の際に略式としてナズナのみを入れて炊く習慣がありました。案外、この七草=ナズナという意識が昔からあって七草紋が成立したのではと考えられます。

また、ホヤとはヤドリギの古名ですが、紋を一目見てヤドリギと判別できるかは疑問ですが、何故か殆んどハトとセットになっているのは何か言われがあるのでしょうが、その点は判明しませんでした。

葵紋の謎

葵紋には著名な三ツ葉葵型式と葉が二~三枚直立した立ち葵型式のものがあります。そして立ち葵形式の紋のうちで、中央に複数の花を着けた穂が上がっているタイプのものが存在します。

本来のフタバアオイは、二枚の葉間から下向きに目立たない小さな花を一輪だすのみのに対し、水性植物のミズアオイ、葉脈こそ平行脈で異なりますが、葉形は端正なハート形であり、淡紫色の美しい花穂を立てます。

このように同じ葉形でよく似た名称を持った両種が混同されて、同じ葵紋となってしまったのではないか?



葵紋の謎
実は二種類が混じっている葵紋



ミズアオイ



に野外に出ての植生調査の手法(植物の観察、植生の書き方など)については、鈴木先生から調査のコツやテクニックを教えて頂いていました。翌日の本格的な野外実習となる玉原高原でのブナ林調査は、残念ながら雨模様の天候となりましたが、調査が出来ていた様子でした。今年も植生調査で得られたデータの集計・解析に苦戦する参加者が多いしました。毎年恒例になつて、夜遅くまで自習されました。しかし最後には鈴木先生からの模範解答と解説があり、調査で得られたデータについての理解が深まつたのではないかと思いついたのではないかと思つた。

今年も3泊4日の受講生邊まで範囲を拡大して調査を行ひ、新たな景観への経験と理解が深まつたようでした。最後には、景観区分図から植生修復についての考え方、計画について中村先生よりご教授頂きました。

講生へのアンケートや講師・スタッフから多くの反省点があがつてきていました。カリキュラムの内容等、見直しや修正も含め、検討していくたいと思いま

す。

そこで、このモロムキですが、シダ類のウラジロです。葉の中央に次の芽を抱えている特長がしっかりと図案化されています。蕨は誰が見てもワラビの新芽に見える見事な表現です。クルミについては何故か、この種子を割った形のものばかりです。戦時の糧食としての重要性でしょうか。

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

家紋と植物③



タチバナ



桔梗紋 (筆者の家紋)

植物家紋の意味するもの

家紋を創作するに当たっては、それぞれ何等かの意味合いがあったものと思われますが、それらの全てを解明することは、まず不可能と言えます。何しろ、家紋の中には鉄や鍵、雲に稻妻、炭に五徳、果ては蟹や蛤といった多種多様なものが登場してくるのですから。それはともかく、植物家紋では一応以下のようなことが選定理由として挙げられます。

- ①端祥を表すもの キク、キリ、マツ、タケ、ウメなど。
- ②縁起の良いもの カシワ、ヒイラギ、ナンテン、ウラジロなど。
- ③端正な形の花、葉を持つもの ウメ、サクラ、キキョウ、ナデシコなど。アサ、カジノキ、カタバミ、オモダカなど。
- ④豊穣、多産を表すもの イネ、アワ、ウリ、クルミなど。
- ⑤たくましい成長力、繁殖力を持つもの フジ、クズ、ツタなど。カタバミ、ワラビ、ススキなど。
- ⑥真っすぐに伸長するもの スギ、タケ、アサ、アシなど。
- ⑦通年緑色を持つもの マツ、スギ、タケなど。
- ⑧葉効性のあるもの チョウジ、クチナシ、ボタンなど。
- ⑨神秘性を有するもの ヤドリギ、ハス、タチバナなど。
- ⑩珍奇なもの バショウ、シュロ、チョウジなど。
- ⑪語呂合わせ的なもの ミョウガ、ナンテンなど。

中澤 幸三郎 (株京都芳樹園緑販・京都府)

特異な家紋

最初に述べたように、家紋に採り入れられた植物は多彩なものがあります。ここでは、その一部の変わりダネを紹介してみましょう。

モロムキですが、シダ類のウラジロです。葉の中央に次の芽を抱えている特長がしっかりと図案化されています。蕨は誰が見てもワラビの新芽に見える見事な表現です。クルミについては何故か、この種子を割った形のものばかりです。戦時の糧食としての重要性でしょうか。

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

モロムキ

平成30年度全国研修会開催

青年部会



ます。講演会にいたしましたては、花の景観、街路樹設計の変更の試み、これから樹木など、設計コンサルタントの立場から色々お話を聞けた事、また積極的に質問する人もいて、非常に良い講演会だと感じました。

講演は、大橋尚美氏の作
つて頂いた資料に沿って進
められました。新しい街路
樹のデザインについて、過
去の例を挙げて頂きなが
ら、これから街路樹はどう
のように植栽、管理をすべ
きか、またどのように改修
するべきか、国交省の道路
緑化技術基準の改正のボイ
ントを踏まえて説明して頂
きました。これまで緑を

増やすことが重要であったが、近年は緑の質の向上が求められ、これから街路樹は地域の人、民間の企業などと連携し、美しく心地良い街路景観を創ることで、町の文化性や資産価値が向上するとの講演には詔得力がありました。また、緑化業界への期待や、こんな樹木が欲しいなど、具体的な話が聞けて内容の濃い

講演会後は懇親会では、大橋氏にも参加していただき、清水宣昭関東アロップス長から祝辞を頂き、高橋浩久東京支部長の乾杯で和やかな時を過ごせました。感想として、今回、台風21号での被害に遭われた会員さんもいる中、研修会に参加して頂き感謝申し上げました。

青年部会・平成30年度全
国研修会は、東京都港区の
ホテルメルパルク東京にて
5月5日(水)13時より、講師
戸田芳樹(風景計画) 取締
役 設計室長 大橋尚美氏
をお招きし、青年部78名参
加(台風のため当日11名欠
席)のもと盛大に開催され
ました。

会長が開会宣言を行つた。
森田直樹部会長から、前日
の台風21号と西日本災害など
の災害へのお見舞いの言
葉とともに、今日の講演会に
ての内容を地元に持ち帰つ
て、自身の経営や生産の取
組み等、今後の参考にして
欲しいとの挨拶があつた。
続いて、宍倉孝行会長から
は、青年部はこの業界を担
うのだから、2年後のオリン
ピック・パラリンピック

を踏まえて、今日は、沢山
吸収して帰って欲しいとの
挨拶があった。



質問をしている青年部会員



リレー連載 うえきのちから～植木が届ける宝物～

向上心を持つ

近年稀に見る災害が各地で続いている。街路樹や庭木が倒され、大きな被害が各地で相次ぎ復旧の為、巨木を処理する作業員達の姿をメディアで多く目にする機会がふえました。

一方で造園業を営んでいると巨木を伐採する依頼を受ける事があります。その場合の多くはクレーン車を必要とします。しかし、クレーン車が入らない現場もあり、やむをえず、お断りする事がありました。そこで私はクレーン車を使わず切る事は出来ないのか?他に方法はないのか?と考え、詮索したところアーボリストという高い木の剪定、伐採、メンテナンスをロープワークで行う手法がある事を知りました。

そこで私はアーボリストの技術を学び習得し造園業の中に取り入れ、これまで、お断りをせざるを得なかった難しい現場も樹木の剪定、伐採ができる様になりました。このアーボリストすなわちロープワーク法という手法は高木の剪定がメリットではなく、樹木を傷つけにくい手法の為、何十年、何百年生きてきた巨木にも優しく作業ができ複雑に混み合った枝抜きにも役立ちます。庭師



あーぼ慶

野崎 慶徳

プロフィール 野崎 慶徳 1974年生まれ、九州長崎出身
24歳から造園業に従事、長崎で修行後、あーぼ慶を創設、
関西、九州を拠点に活動している。

味深い。厳しく細かい注文もなかにはあるが、そんな時こそ、お客様の庭へのこだわり、愛情が感じられ受ける側も職人冥利に尽きる、世界各地に日本庭園があります。

日本庭園は昔から海外でも人気で、2年前ドイツカイザーラントにあるカイザースラウテルンジャパンニーズ公園の剪定をしたが樹木はどれも丸く丸く剪定されており、松の木さえもまるでマキの木の様に剪定されていました。アジア全体のイメージが1つの文化になってしまったんだろうなと思ってしまった。そのドイツの日本庭園でメンテナンスをしているドイツ人の庭師は、日本の剪定技術に非常に興味を持っている様で熱心に質問してきた。これから先もっと沢山の日本人庭師が海外で活躍出来たら本当の日本庭園の素晴らしさを世界の人達にみてもらえるだろうと、そして自分もいつかその中の1人になれたらいいなと思います。色々な人と出逢う事で自分は成長出来る。そんな出逢いのきっかけとなった樹木に感謝し、これからも一層自分のスキルアップを心掛け日々成長していく所存です。



す。生活をしている人間と自然の中で生きている樹木が共存するにあたってそれぞれがうまく生きていける様、自分が手を加える事により少しでも手助けが出来るなら、こんなに嬉しい事はないと思います。色々な地域で仕事をする機会があるが、その地域ごとに剪定の方法やお客様の好み、要望も違っていて、とても興

平成30年度通常総会 神奈川県箱根町にて開催

平成30年度庭園樹部会通常総会は、平成30年9月20日15時30分より17名の参加をもって神奈川県足柄下郡箱根町「ホテルおかだ」において開催された。

通常総会は、岩田副部会長による開会宣言、体調不良により急遽欠席となつた部会長の挨拶は割愛させていただき、来賓の川口担当理事から挨拶をいただいた。

議長には神奈川県支部の近藤氏が選出され、議事録署名人に三重県支部の沖氏と神奈川県支部の石井の2名を指名したのち議事に入つた。

第一号議案「平成29年度事業報告と決算・監査報告」については、事務局より各委員会活動報告と決算内容報告の後、佐土原監事が報告された。その他に意見等があればと議場に詰ったところ、部会長に小畠勝裕氏の再任と勝山明彦氏の新任が報告された。

議長には神奈川県支部の近藤氏が選出され、議事録署名人に三重県支部の沖氏と神奈川県支部の石井の2名を指名したのち議事に入つた。

第一号議案「平成29年度事業報告と決算・監査報告」については、事務局によ

り各委員会活動報告と決算内容報告の後、佐土原監事が報告された。その他に意見等があればと議場に詰ったところ、部会長に小畠勝裕氏の再任と勝山明彦氏の新任が報告された。

議長には神奈川県支部の近藤氏が選出され、議事録署名人に三重県支部の沖氏と神奈川県支部の石井の2名を指名したのち議事に入つた。

第一号議案「平成29年度事業報告と決算・監査報告」については、事務局によ



より諸帳票類は適切に処理をされており問題が無かつたとの監査報告があり、審議の結果、全会一致で承認された。



連載 植木よもやも話③

東京農業大学教授 濱野周泰

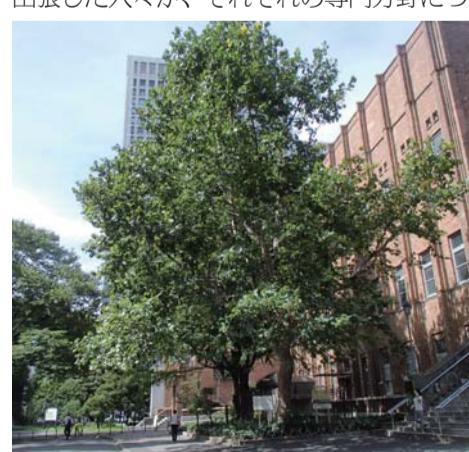


明治維新から150年になる昨今、改めてこれまでの時間の流れを振りかえってみるといろいろな企画やイベントが行われている。文明開化によって欧米の文化が入り人々の生活様式も大きく変わり、その様子は「まち」の姿にも観ることができた。それまでの街道並木とは異なり、まちの中に並木が植えられるようになった。明治維新の少し前、安政6年(1859)、横浜が開港するとともに関内の商家では店頭前の道路に装飾や目印、日除けなどのために松や柳を植込んだ。さらに慶応3年(1867)、明治維新と時を同じくして馬車道通りが開通した時も松や柳が並木状に植えられた。これらの並木が日本の街路樹の始まりと考えられている。横浜市馬車道通りには「近代街路樹發祥之地」の碑が建てられている。



モミジバフウ紅葉：近年、街路樹として植えられることが多くなったモミジバフウ。端正な樹形とともに秋には美しい紅葉が見られる。

モミジバフウ紅葉：近年、街路樹として植えられることが多くなったモミジバフウ。端正な樹形とともに秋には美しい紅葉が見られる。



プラタナス：明治40年に東京市の街路樹に決定したプラタナス。街路環境への適応力、樹形的にも街路樹への適正が感じられる。

モミジバフウ紅葉：近年、街路樹として植えられることが多くなったモミジバフウ。端正な樹形とともに秋には美しい紅葉が見られる。

明治39年(1906)、東京市は白

濱野周泰プロフィール

東京農業大学農学部造園学科卒業、東京農業大学教授、同大学院農学研究科指導教授、博士(生物環境調節学)、社会資本整備検討会道路技術委員会道路緑化技術部会長として道路緑化技術基準の改訂。特定外来生物等分類群専門家グループ(植物)委員、第二次明治神宮境内総合調査植物調査主査。鶴岡八幡宮大イチヨウ倒伏の再生統括監修。国分寺市農業委員、三鷹市・武蔵野市・江戸川区の文化財保護審議委員。著書は世界の巨樹と絶景の森、イチヨウの絵本、大人の園芸「庭木・花木・果樹」葉っぱで覚える樹木、他。

沢保美博士、福羽逸人博士に道路樹木改良案の作成を依頼した。翌年、東京市はイチヨウ、トウカエデ、トチノキ、アオギリ、エンジュ、イヌエンジュ、トネリコ、サクラ、プラタナス、ユリノキの10種を街路樹木として決定し、苗木の育成を開始した。大正12年の関東大震災までに、植栽計画どおりにほぼ完成した。震災後は東京市の苗圃の復興拡張、民間からの苗木の調達を行い、復興事業による街路への植栽に備えた。街路が完成するとともに植え付けられた。これらの事業によって第二次世界大戦前には、東京の街路樹は約10万本となった。しかし大戦によって街路樹は、傷められ激減した。これを再び、今日のような街路樹として復活させた。

文明開花とともに始まった近代の街路樹は、さまざまな経緯を経て現在の姿になつたが、その基本は、明治39年の東京市の街路樹木の決定にあったと考えられる。この時の多くの樹種は現在でも利用されているが、これらの中にハナミズキは入っていない。ハナミズキは、正式には大正4年に日本に来ている。しかし、ハナミズキは民間業者によって明治中頃には輸入されていたといわれている。現在、ハナミズキの街路樹は大変多いが、当時の東京市の街路樹木の中に入っていないことは、街路という環境に対して適正が認められなかったのか、あるいは並木を形成するには形態的に不十分であったのか、あるいはハナミズキの存在が時間的に間に合わなかったのかなどの謎(興味)がある。普段目にする街路樹には、多くの外国から来た樹種がある。これらは街路樹としての素養を十分に満たすものであり、美しい街並みを創り出すには美しい街路樹の景観をつくる必要がある。



ラクウショウ：外国から来た樹種のラクウショウ。水湿環境に強く根系が水に浸される場所でも生育する。湿り気の多い環境に適する樹種である。



ニッケイ：本来は薬木として渡来したニッケイ。暖地では有用木として栽培された。近年は見る機会が少なくなったが街路樹としての素養はある。

18時からは懇親会が開催され、岩田新部会長の挨拶に続いて、野尻顧問の乾杯により宴が始まり、終始和やかな懇談が行われた。



平成30年度 幹事・支部長 合同会議を開催

「リバリー青年部会」
青年部会のセールスポイントは?

7月18日㈬の13時より、愛知県名古屋市青少年文化センター(アートピア)第3研究室において、青年部会幹事、各支部長、横田豊

理事、事務局で計26名の参加のもと、3年度幹事・支部長合同会議が開催された。

議題Ⅰでは、各プロッ



ク、支部に事前アンケートをもとに各プロック、支部ごとの今年の活動報告をし、質疑応答を行った。議題Ⅱでは、4班に分かれ、班ごとに責任部会活動におけるメリットを話し合つた。メリットし

た。メリストによるが困難であるが、日本植木協会の会員であることが、緑化生産・流通においての信用になる。協会は、生産、流通、施工と緑化業界を網羅する社團が全国から集まっており、植木に関する各々の事業の勉強ができる等の意見も出た。また、

今後として日本植木協会での植物パントン取得など、新たな商品の発案も必要ではないかとの意見も出され、未来の植木業界への熱い思いを語つた。



平成30年7月24日(火)、東京都の晴海トリトンスクエア内にて撮影力アップ! 植木売上アップ! 講習会を開催しました。講師のプロカメラマン高柳俊泰氏のもとで、12名の参加で行いました。

梅雨を挟み、午後からは各自で撮影した作品を見ながらの講評会となりました。

講評会では講師から座学のおさらいに加え、光の扱い方や構図の取り方等、作品一つ一つの解説・指導をして頂きました。多くの質問も出て、又意見交換も盛り上がりました。『座学だけではなく実技を交えた講習会だったので、分かりやすく、勉強になった』と好評を頂きましたこと、各園のホームページ掲載等への写真がレベルアップがありました。

新樹種部会 データ管理委員会 植木売上アップ! 講習会

メラで撮影、お昼休憩を挟み、午後からは各自で撮影した作品を見ながらの講評会となりました。

講評会では講師から



特集 チェリー・イングラムと呼ばれた男

株式会社 アスコット
若林芳樹

『チェリー・イングラム』と呼ばれた男は、コリングウッド・イングラムというイギリスの園芸家です。彼は多くの日本の桜をイギリスに導入・栽培し、園芸品種を作出するなど、イギリス国内もとより欧米各国に桜を広めたことで知られています。

協会員の中にはイングラムという言葉を聞いただけで、『オカメ(Cerasus 'Okame')』の濃い桜色の可愛い花や花で覆われた魅力的な姿を思ひ浮かべる方もいらっしゃるかと思います。この桜は彼が自宅の庭でカンヒザクラとマメザクラとを交配させて作出した桜です。ほかにもチシマザクラとカンヒザクラとの交配により『クルサル(Cerasus 'Kursar')』という桜も作出しています。

また、彼が意図して作出した桜ではありませんが、彼の庭(桜の園)で自然交配によって生まれた美しい桜があります。彼は自分の庭で自然発生したこの美しい桜を『ウミネコ(Cerasus 'Umineko')』と名づけ、桜が容易に交雑種を作ることを知り、『オカメ』や『クルサル』を作出したのです。彼が『ウミネコ』を見つけて、それによって桜が容易に交雑種を作ることに思い至らなかったら『オカメ』や『クルサル』は生まれなかつたのではないかでしょうか。

イングラムはイギリス国内などで多くの桜を集め自宅の庭に植えていましたが、それまでに集めた桜以外の美しい桜を収集するためだけに、1926(大正15)年春、彼が45歳のときに3回目の来日をしています。

3月30日に長崎港に着き、東京には4月1日に着きました。その後5月23日に日本を離れるまでに、京都、保津川、吉野山、荒川堤、小金井堤、箱根、富士山麓、日光、仙台、松島、九州(別府、耶馬渓、雲仙、阿蘇山)などを訪れ、野生種、栽培品種を問わず、多くの桜を観察し、気に入った桜は穂木の採取には時期が適していないこともあり、穂木の代金と郵送料を前払いして適期の冬にイギリスに送って



カンヒザクラ



マメザクラ



オカメザクラ

もうよう手配し離日したのでした。

イングラムは日本から多くの桜を導入する一方、彼の庭で生育する失われた日本の古い品種を里帰りさせたことでも知られています。そんなイングラムの日本の桜との半生を一冊に取りまとめた本が岩波書店から2016年3月8日に出版された『チェリー・イングラム 日本の桜を救ったイギリス人』阿部菜穂子著で、第64回日本エッセイスト・クラブ賞(2016年)に選ばれています。

この本が出版されると、イングラムの功績をいくつかの新聞や雑誌が掲載し、ラジオでも放送されましたので見聞きされた方も多いのではないかと思います。それらの記事の見出しを拾ってみると『多様な桜一戦前ソメイヨシノ一色に憂い一守った英国人「絶滅」タイハク京都へ穂木送る 東京新聞2016.03.21』や『太白』里帰りの道(英国→日本) 桜に魅了されたイギリス人「染井吉野」だけでいいのか 朝日新聞2016.04.23』、『多様性愛した英國の桜守 每日新聞2016.04.27』などで、日本で失われてしまったサトザクラの白花大輪品種『太白』の里帰りと、染井吉野一色になっていく日本の桜事情や古来の多様な桜が失われていくことへの警鐘をイングラムが発していたことを本の紹介とともに記事にしています。

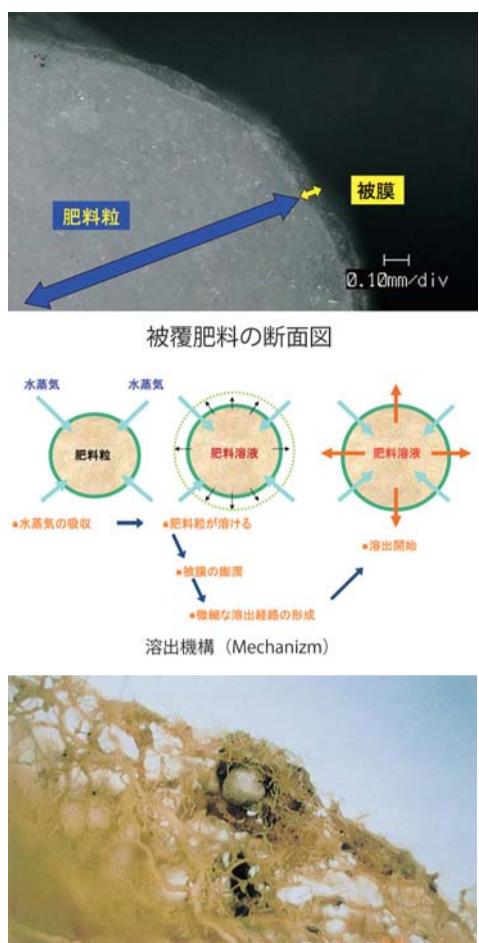
本は『桜と出会う』『日本への「桜行脚」―日本の桜が危ない』『『チェリー・イングラム』の誕生』『本家』日本の桜』『イギリスで生き延びた桜』『桜のもたらした奇跡』の6章からなっており、幼少から100歳7ヶ月で没するまでのイギリス人桜守の生涯を、日本の桜との関係を主体にわかりやすく紹介しています。

文章は小説とは異なり章ごとに小見出しがあり、ほとんどが数ページの構成となっているので、少し時間があれば読み込むことができます。読み物としてばかりでなく、彼の日本での桜探索のようすやイギリス国内を始め海外からの桜収集の方法、桜の育種・栽培の方法や考え方、サトザクラなどの日本の古い品種の情報、桜への深い愛情なども掲載されているので、桜に限らず植物を取り扱う上でいろいろ参考になるかと思います。植物を栽培し、増やして、社会に提供することを生業としている協会員の方々、特にこれから日本の植木業界を支え、リードして行く若き青年部会の方々には、ぜひ読んでいただきたい一冊です。

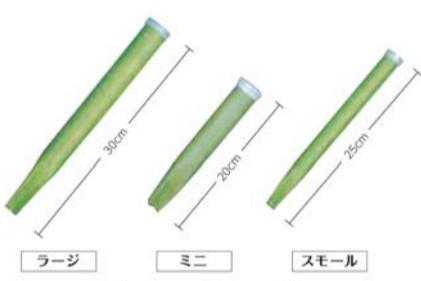
イギリスでの桜は日本の染井吉野ばかりの状況と異なり、イングラムによつてもたらされ、彼の庭で育ち、彼の手を離れてどんどん広がっていったので多種多様な桜が見られ、有名なキューガーデンを始め、ロンドンのリージェンツ・パークやハイドパーク、グリーンパーク、王室の庭園であるサヴィル・ガーデンなどの多くの公園や庭園、街路樹や個人庭園などに広く使われ、250種・品種を超える桜のコレクションを持った植木卸業者の存在も述べられているなど、彼が導入し育て上げた桜がイギリス全土に植えられて花をつけている状況も詳しく掲載されています。

なお、阿部菜穂子氏がこの本を執筆するにあたって調べたり取材したりした出典や参考にした資料や書物などが各章の最後にまとめて掲載されており、桜を生産したり研究したりしている方にとって貴重な情報になると思われます。

最後になりましたが、本稿の執筆にあたっては、『チェリー・イングラム 日本の桜を救ったイギリス人』阿部菜穂子著より多く引用させていただきました。



養分の溶出量が少なく植物の根が肥料を覆うように伸びてくる。即ち溶出した養分は根に直接吸収され無駄がない。(肥料焼けの心配もない)



グリーンパイルの種類

肥料粒
被膜
0.10mm/div

水蒸気
水蒸気
肥料粒
肥料溶液
肥料溶液
肥料溶液
●水蒸気の吸収
●肥料粒が溶ける
●被膜の膨潤
●微細な溶出経路の形成
溶出機構(Mechanism)

●手を加えてこそ樹木は育つ
「自然」とは、何もしないでそのままにしておくこと。人間と人間の手が加わっていいものを指す。山の木々は自然に生育する。しかし、「人が植えたものは、守り育てていかなればいけない」これが樹木を育てる為の大原則です。

人間が手を加えて守り育てていくには何が必要か。重要な点のひとつに「肥料を与えること」である。

■ジェイカムアグリの肥料とは

肥料は必要な時に必要な量だけを長期間にわたって与えるのが一番効果的である。それを可能にしたのが『緩効性肥料』です。普通の肥料は降雨などで水に溶け込んで流亡してしまい、効果が長続きしません。

■手を加えてこそ樹木は育つ
「自然」とは、何もしないでそのままにしておくこと。人間と人間の手が加わっていいものを指す。山の木々は自然に生育する。しかし、「人が植えたものは、守り育てていかなればいけない」これが樹木を育てる為の大原則です。

人間が手を加えて守り育てていくには何が必要か。重要な点のひとつに「肥料を与えること」である。

■手を加えてこそ樹木は育つ

■手を加えてこそ樹木は育つ

シリーズ 賛助会員紹介 ジェイカムアグリ株式会社 No.9

コンテナ苗用培土にも使用いただいています。溶出のメカニズムは図のとおり。肥料養分の溶出を自由にコントロールすることを可能にした肥料が『ハイコントロール』です。

肥料『ウッドエース』

成型肥料はぐるみ状の大粒にすることにより、肥効が長期間持続する。こちら

は植林の際に全国で用いら

れてきた。窒素成分にすべ

て緩効性IBDUを使って

いる為、2~3年間持続す

る肥料である。掘り返して

みるとウッドエースの周り

を根が取り巻いており、根

系が肥料を吸収しているこ

とが分かる。

■ジェイカムアグリの樹木

ロード

コートイング肥料とは、

化成肥料や尿素等の水溶性

粒状肥料を樹脂等で被覆、

肥効調節機能を備えた肥料

です。温度条件に応じた溶

出速度を実現することで植

物の栽培期間に合わせてタ

イプを選定することができます。結果、植物の利用効

率が向上します。

■グリーンパイル

専用打ち込み肥料『グリー

ンパイル』

■ジエイカムアグリの樹木

ロード

専用打ち込み肥料『グリー

ンパイル』

■ジエイカムアグリの樹木


日本列島植木植物園 ナショナルプランツコレクション*

ガマズミ属
Viburnum L.

春に純白の花を咲かせ、秋に赤い実をつけるガマズミ。今回は、弊園で取扱っている10種のガマズミについてご紹介します。

コバノガマズミは全体的に小さく、花や実のつき方も細やかで清楚な印象を与えます。ミヤマガマズミは比較的標高の高い山に自生し、葉の表面に光沢がよく見られます。また、上記2種と同じような花や実をつけるゴマギは、葉や茎にゴマの匂いがあるのが特徴です。同じゴマの匂いを持つものに、琉球の固有種で常緑低木のゴモジュがあります。

オオカメノキやヤブデマリは、アジサイのガク花に似た周辺花が特徴的で、とても華やか。オオカメノキの周辺花の花弁が5つである一方で、ヤブデマリの周辺花は花弁の一つが小さく、蝶のように見えることから胡蝶樹とも呼ばれます。また、他と違ったカエデのような形の葉を持つカンボクは、秋の実が透明で丸く、大変美しい樹です。

さらに、珍しいものとして、芳香のある花を咲かせるチョウジガマズミ、花の上部が赤色を帯びるヤマシグレ、淡い紅色の花と垂れ下がる橢円形の実をつけるオトコヨウゾメがあります。

ゴマギ
V. sieboldii

ゴモジュ
V. suspensum

カンボク
V. opulus var. calvescens

チョウジガマズミ
V. carlesii var. bitchiuense

コバノガマズミ
V. erosum var. punctatum

ミヤマガマズミ
V. wrightii

オオカメノキ
V. furcatum

ヤブデマリ

ヤマシグレ
V. urceolatum

オトコヨウゾメ
V. phlebotrichum


参考文献 日本の野生植物 木本Ⅱ (1989) 佐竹義輔・原 寛・亘理俊次・富成忠夫 編／樹木大図説Ⅲ (1961) 上原敬二 著

*ナショナルプランツコレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。



また、懇親会では、美味しい食事とお酒をまみながら、仕事や協会の話等で盛り上がっています。本当は「植木協会員を増加するには?」とか「植木業界の未来」



皆さん、こんにちは。まさか2回も書く機会をいたしました。前回と同じで毒物だけ読んでください。今日は青年部会千葉県支部の活動内容を紹介しようと存じます。

い。今回も書く機会をいたしました。前回と同じで毒物だけ読んでください。今日は青年部会千葉県支部の活動内容を紹介しようと存じます。

い。今日は青年部会千葉県支部の活動内容を紹介しようと存じます。千葉県東金市にて、体験を楽しんでくれて、こちらの方が心が淨化されるような気がして次への仕事の活力をもらいました。

す。

千葉県支部長 大木伸一
(大木造園種苗株)

青年部会だより
代表者変更

▷有協農園(福岡県)
新栗木 康太 旧栗木 英樹

住所・電話番号変更

▷石川園(東京都)
新〒197-0003 東京都福生市熊川283
電話042-551-3883 FAX042-513-7011

協会退会

▷官沢園(神奈川県) 佐藤吉伯
▷北野緑生園(大阪府) 北野裕之
▷咲寛樹園(大阪府) 高岡豊一
▷植忠(大阪府) 杉田晃一
▷新地グリーン(鹿児島県) 新地耕一

計報

▷兵藤 文子様(兵藤 功氏のご母堂様)
兵藤緑販㈱(茨城県) 平成30年8月20日没

▷田崎 まつ様(田崎 稔氏のご母堂様)
田崎農場(茨城県) 平成30年10月3日没

コンテナ農場(100万本生産)


コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター


愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail : setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモジ ハナモモなど